

報道関係者各位

ゼロカーボンシティの実現に向けて 燃料電池自動車 MIRAI を寄贈いただきました

このたび、カーボンニュートラルに向けた水素エネルギーの活用に向け、トヨタカローラ新大阪株式会社（大阪市淀川区東三国 3-10-21）から、「燃料電池自動車MIRAI」と「可搬型給電器」を寄贈いただきました。

燃料電池自動車は水素を燃料に発電して走行するため、走行時に二酸化炭素を排出しないのが大きな特徴です。また、災害時は給電器を介して電子機器などへ給電できる非常用電源としても活用できます。

茨木市は、令和4年3月に、地球温暖化の原因となる二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの市域からの排出量を2050年度に実質ゼロとすることをめざす「ゼロカーボンシティ」を表明しており、市では、この車両を日常的に公用車として運用するほか、市の環境や防災イベントでの展示啓発などに活用する予定です。

■感謝状贈呈式（実施済）

令和4年3月23日（水）、午前11時から、市役所本館人工台地で実施



感謝状贈呈式の様子（3/23撮影）

左：トヨタカローラ新大阪株式会社 久保行央社長
右：福岡洋一茨木市長

■水素ステーションの整備状況

全国で157か所、大阪府で9か所、茨木市内で2か所
（令和4年1月現在、一般社団法人次世代自動車振興センターホームページより）

■福岡市長コメント

「ゼロカーボンシティ表明のタイミングで象徴的な車両を寄贈いただいたことは、本市にとって励みになります」